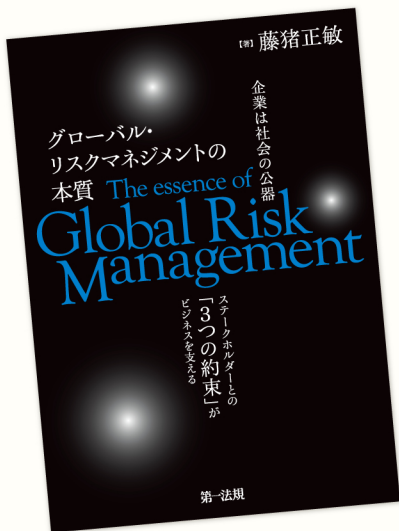


企業は社会の公器 グローバル・リスクマネジメントの本質

～ステークホルダーとの「3つの約束」がビジネスを支える～



事業の拡大は海外にこそ活路!

悩める経営者、海外責任者が押さえるべき

グローバル・リスクマネジメントの要諦が理解できる

【編著】藤猪 正敏

松下電機産業株式会社(現パナソニック株式会社)で国際、法務部門に長年在籍。数々のグローバルリスクの解決に関与してきた。

定価:本体3,000円+税 A5判・234頁

「3つの約束」がビジネスを支える!

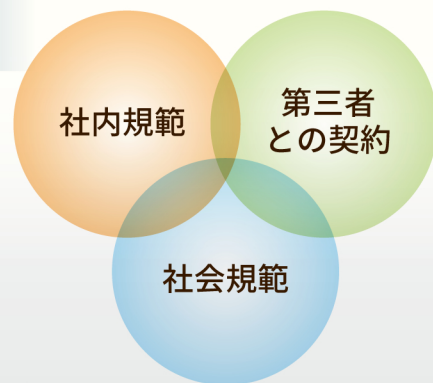
本書は、グローバル・リスクマネジメントのリアルを関係者の会話でつづることで疑似体験できる!

【3つの約束】

社会規範：事業関連法令、ガイドライン、外郭団体コード、社会慣習等

社内規範：経営理念、定款、産業規則、各種社内規程等

第三者との契約：取引先、委託先等との契約上の交渉経過、締結、履行のモニタリング、紛争処理等



こんな悩みありませんか

経営者

海外進出はチャンスでもあり、リスクもある。経営者としての心構えや何に注意し誰に相談すればいいのかわからない。

現地法人責任者

今まで現場で、法務など担当したことがないし、現地の法律もよくわかってないし、…不安で一杯だ!

国内の海外担当責任者(本部)

現地と連携してどうやってリスクに対応すればいいんだろう。予防策も考えなければいけないし…

本書で解決

経営者として、どう考え、体制をどう構築し、どう関係者に伝えていくべきかが疑似体験できる。

過去に起きた不祥事も素材に海外担当責任者と現地法人責任者の会話を再現。具体的な行動のとり方がわかる。

海外担当責任者(本部)と現地法人責任者の連携こそが、リスクマネジメントでは必要。組織のあり方、国内本部の関わりが理解できる。



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
<https://www.daiichihoki.co.jp>

Tel. 0120-203-694
Fax. 0120-302-640

目次

第1章 グローバル社会における正しい企業経営 ～グローバル・リスクマネジメントへの道～

第1節 「社会の公器」としての企業と「正しい経営」

第2節 「正しい経営」を支える 「グローバル・リスクマネジメント」

第3節 「正しい経営」を支える 「グローバル・リスクマネジメント」

～経営は「3つの約束」で繋がっている～

第2章 「正しい経営」を支える グローバル・リスクマネジメント

第1節 グローバル・リスクマネジメントの構想に着手

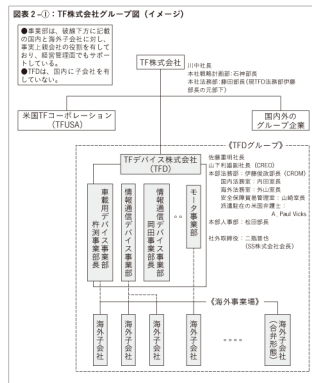
第2節 グローバル・リスクマネジメントの実践

第3章 グローバル・リスクマネジメントの進化と 「正しい経営」の更なる確保を目指して

第1節 スタートからの6カ月を振り返る ～社長提案による3人会～

第2節 TFD流のGRM活動のベースは「3つ」

- 1 3つの基本的要素についての報告
- 2 3つの約束についての報告
- 3 排除すべき3つの毒
- 4 社外法律事務所のネットワークづくり



インサンのことで、本当に助けてもらいました。伊藤さんが帰国してから私は、さらに5年ばかりアメリカに残ったのですが、ここで再会できるとは思っておりませんでした。帰任が決まったとき、TFUSAの人事部長がTFDの幹部社員名簿と職歴表を見せてくれ、伊藤さんの名前をそこで見つけ何故かハッとしました。これ、本当です。伊藤部長は、昨年10月1日付の異動での、僕の赴任のちょうど3カ月前です。奇遇です。

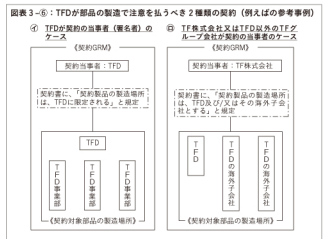
伊藤 本当に奇遇です。何かご縁があるのかもしれませんが、ここで社長の
お役に立てれば良いと思います。
佐藤 本題に入る前に、僕とTFD事業との関係について話をします。その
後、僕の気がかりについて聞いてもらいたいと思っています。
突然失敬ですが、昨年12月上旬、TFD本社から帰任命令が
ありました。帰任先は元の民生用製品を扱う「技術」の事業部だ
と聞いていました。しかし、予想外に、これまで経験したことのない
電子デバイスのTFDでした。これまでの異動のときと同様、異動先
の事業部で最善を尽くすつもりです。社長としての役割を果たす覚
悟です。私も50代半ばとなりまじから、TFDは終の住処になるか
もしれないと考えています。その気持にはゆりはありません。
佐藤 そこで相談なのですが、伊藤部長の意見を聞かせてもらいたいです。
僕らは、電子デバイス事業のおよそについては理解しています。先
週までに、TFDデバイス事業について、事業部長、技術担当役員、
営業担当役員の方たちとの情報交換、意見交換、強みと弱みの照会、
そして越えていく課題の共有等を目的とする会議を行いました。
また、TFDの独立採算をベースとする自主責任経営の体現につ
いても、打ち合わせや検討を重ね、徐々に理解できていくだろうと
思っています。

しかし、本音の話が聞かせてもらえたのかどうかについてはわかり
ませんが、次年度決算計画は4月1日にスタートするのですが不安で
仕方がありません。
特に、リスクについては、デバイス事業と家電事業ではビジネスモ
デルが根本的に異なります。デバイス事業は従来のBtoCのビジネス
モデルではなく、企業対企業のBtoBモデルですから、お客様への対
応等、大きく異なる面が多々あります。お気遣いは大層ですが、
メーカー、商社、しかも、海外の大手が相当に多く、売りのシェアも大

(3) 第三者との約束についての報告

伊藤 ③の第三者との約束（「契約」）についてご説明します。
私は、販売は売り手の責任、利益は売り手の責任という観点からします
と、事業部、その傘下の海外事業部、そして本部という全事業部が、
特約に注意を払わなくてはならない約束は、第三者との契約です。
正しい経営という場合に、その意味を単にルールや規範を尊重する
ということだけでは不足です。利益を確保できているかどうか
がTFDの存在意義を証明する尺度でもあります。何よりも、企業
人として、利益のことを考えなければなりません。TFDグループでは、
利益なき経営は潔く見捨てられています。契約は、利益を産み出
す事業の成長エンジンそのものです。明らかにTFDの経営は、多く
の取引先と結ぶ契約に支えられています。およそ、第三者との契約を
結ばないで存続し、成長している企業はないはずです。

佐藤 重要な話ですね。
伊藤 「製品の品質は経営の品質、経営の品質は製品の品質」というのが
TFDグループの経営スローガンです。TFDは、このスローガンに
沿って開発・設計の段階から、技術、製造、品質管理の各部門が一丸
となってモノづくりを行っています。ところで、GRMの内、契約
リスクマネジメントの観点からTFD（すなわち、傘下の各事業部）
が終始注意を払わなければならない「販売契約」は、基本的には2
つです（図表3-⑥）。それは、
① 法人としてのTFDが契約当事者となって第三者と締結したも
の
② 法人としてのTFDが契約当事者となって第三者と締結
したものの内、TFD傘下の事業部や各事業部傘下の海外事業部
に影響を及ぼすもの
です（例えば、TFD又はTFD傘下の事業部が、契約対象製品の製造



委託者として委託生産を行い、TFD株式会社の相手当事者に当該製
品を供給するケース）。
①は、法人としてのTFDが契約当事者となっています。この契約
書は、いつでも契約書の内容をチェックすることができます。合意さ
れた内容通りの製品を生産し、相手当事者に販売（配給）すること
が可能です。万が一、製造した製品の品質等に不具合が生じたとし
ても、合意の内容に十分に対応・対策を取ることができるとある
状況です。
②は、傘下事業部のリスクマネージャーから、何らかのリスク発生の通知が
あれば、本部のGRM体制チームが当該リスクの処理に協力できるで
しょう。3月25日付で、CEOの山下副社長名で、「TFD全体「グ
ローバル・リスクマネジメント制」設置の件」という表題の通達
（図表2-③）がメール配信されております。
通達の添付書類として、「TFD「委託書」」（図表2-④）がありま

詳細・お申し込みはコチラ
＜クレジットカードでもお支払いいただけます＞



第一法規ストア

検索

CLICK!

キ リ ト リ 線

書名	価格	部数
企業は社会の公器 グローバル・リスクマネジメントの本質 ～ステークホルダーとの「3つの約束」がビジネスを支える～	定価3,300円(本体3,000円)	部

*弊社宛直接お申し込みいただく場合、一回のご注文でお届け先が一箇所、お買い上げ合計金額5,000円(税込)以上のご注文は、国内配送料サービスといたします。また、お買い上げ合計金額5,000円(税込)未満のご注文については、国内配送料550円(税込)にてお届けいたします。
*消費税は申込日時の適用税率に依ります。

○上記のとおり申し込みます。代金については、次に示す方法にて支払います。
*現在、弊社とお取引のないお客様につきましては、代金引換にてお支払いをお願い申し上げます。
(いずれかを✓で選択ください。) □代金引換により支払います。 □現金到着後請求書により支払います。
*代金引換手数料について
一回あたりのお買い上げ金額(商品の税込価格+送料)の合計が
1万円以下の場合、300円+税
3万円以下の場合、400円+税
10万円以下の場合、600円+税
※送料・代引手数料を含む合計金額は、商品のお届け時に配送業者
に現金でお支払いください。その際、クレジットカードはご利用い
ただけません。

〒 _____ 年 月 日

ご住所

〒 _____

事務所名 公用 私有

フリガナ _____

ご氏名 _____ TEL _____ E-mail _____

様 ㊟ _____ @ _____

お客様の個人情報の取扱いについて
お客様より預かりした個人情報は、納品や請求書等の発送・アフターサービス、弊社製品・サービスのご案内などの目的のために利用させていただきます。また、お客様の個人情報は、弊社ホームページに掲載のプライバシーポリシーに基づき適切に取り扱います。なお、個人情報についての照会、修正・削除・利用停止を希望される場合、その他お問い合わせにつきましては、お問合せフォーム (https://www.daichihokki.co.jp/support/contact/contact.php) がフリーダイヤルにてご連絡ください。 フリーダイヤル TEL.0120-203-696 FAX.0120-202-974

取扱い

この申込書は、ハガキに貼るか、このままFAXで下記宛お送りください。

■宛先
〒107-8560
東京都港区南青山2-11-17
第一法規株式会社
FAX.0120-302-640

書店印